

## 第10章 フィールドミュージアム計画

### 10-1. 計画の基本方針

#### 1) 計画の目的

- ・主要史跡・施設のみを訪れる観光では、対象の時代背景や環境を深く知ることは難しく、特に、長久手合戦の史跡は、野戦場であり、開発により周辺環境が原風景から大きく変貌しているため、想像力が働かず、一過性の訪問となってしまう恐れがある。
- ・本市は、第5次総合計画において「人が輝き緑があふれる交流都市長久手」を将来像として掲げ、「万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち」を基本方針としている。
- ・市民が長久手市の歴史・環境を知ることにより、本市に対する理解を深め、「日常の風景が、何度訪れても心地よい」と思えることが観光・交流の重要なポイントとなる。
- ・このため、ルートや立寄り史跡・施設周辺において魅力的な景観等の整備を行うと共に、多様なニーズに対応する回遊ルートを整備することにより、訪れる人に季節ごとの「新しい知的発見」と「充実した時と空間」を提供することを本計画の目的とする。

#### 2) 計画の方向

- － 1. 古戦場公園を拠点として、関連史跡の解説機能を充実させ、臨場感・距離感が感じられる環境を整備する。
- － 2. 「ふるさとのあたたかさ」を体感できるよう、長久手の原風景が残る、岩作・大草丘陵や香流川沿い農村等を活用する。
- － 3. 愛・地球博記念公園、トヨタ博物館等、リニモ沿線集客環境を活用する。
- － 4. 史跡やまちの日常の営みを活かし、大都市では味わえない散策環境を整備する。

#### 3) 計画の基本方針

##### ①フィールドミュージアムの立寄り史跡・施設・環境

- ・現在古戦場周辺は、市街地となっているが、長久手合戦は、小丘陵と湿田等の田畑が複雑に入り組んだ地形で繰り広げられ、家康が地の利を活かし、色金山・御旗山等の眺望拠点を押さえることにより、戦いを有利に進め、勝利を得た。この戦いを追体験できるよう、戦場となった丘陵のかつての眺望を回復し、距離感や位置関係を体感できる環境整備（眺望を妨げる樹木の枝払いや一部伐採、市街地の景観規制等）を行う。
- ・立ち寄り史跡・施設においては、それぞれの個性が感じられる景観・環境を整備する。
- ・立寄り史跡・施設においては、知的興味を満足させる解説・展示を行う。
- ・立寄り史跡・施設においては、多様なニーズに対応するメニューを整備する。

※立寄り史跡・施設は、フィールドミュージアムにおいて見所ポイントや立寄りスポット

##### ②フィールドミュージアム回遊ルート

- ・多様なニーズに対応し、テーマ性を持ったルートメニューを用意する。
- ・ルート沿いには、長久手の各地域の個性が感じられる景観・環境を整備する。
- ・学び、楽しみ、くつろぎのバランスに配慮されたルート設定、施設配置を行う。
- ・道標、トイレ等を充実させ、利用者にやさしく、わかりやすいルートとする。

## 10-2. 市内のフィールドミュージアム資源の把握

### 1) 長久手古戦場関連

- ・市内の長久手合戦史跡は、市中央から北西部にかけて点在しており、その内、長久手古戦場・御旗山・首塚・色金山が国指定史跡地に指定されている。
- ・長久手城趾・堀久太郎秀政本陣地跡・木下勘解由塚が市指定文化財に指定されている。
- ・その他合戦史跡として血の池・鎧掛の松等がある。



首塚



御旗山



勝入塚



武蔵塚



色金山床机石



庄九郎塚



堀久太郎秀政本陣地跡



木下勘解由塚

### 2) 城跡

- ・市内の城跡は、岩作城跡・岩作西城跡・大草城跡・長久手城趾・福岡太郎右衛門館跡が確認されている。



長久手城趾



岩作城跡



大草城跡

### 3) 寺社

- ・市内には寺社が点在している。その内、永見寺の木造薬師如来坐像（円空仏）、神明社及び多度神社の石造鳥居、神明社及び景行天皇社の棟札が市指定有形文化財に指定されている。
- ・安昌寺は、長久手合戦後、両軍の戦死者を手厚く供養したことから、後年、尾張藩主、藩士が訪れ、合戦にまつわる多くの書付を残したことで知られている。
- ・多度神社（前熊村の氏神、水の神様）では、天王祭りの際に前熊の山車（市指定有形民俗文化財）が曳き出される。
- ・石作神社（岩作村の氏神）には、天保9年（1838）製作の木造恵比須天・及び大黒天二像（市指定有形民俗文化財）の他、天保年の猿投神社の大祭に、岩作村の警固隊列を仕立て参加した様子を描いた「猿投三社大明神祭図岩作村西之切画軸」（市指定有形民俗文化財）などが残されている。



神明社石造鳥居



前熊の山車



安昌寺



石作神社木造恵比須天  
大黒天二像

### 4) 古墳

- ・市内の古墳は、すべて円墳で大きさは10～20m、高さ1～3mのもので、14基確認されており、その内、神明社第2号古墳が市指定史跡に指定されている。

神明社第2号古墳



### 5) 古窯

- ・市内の飛鳥時代から鎌倉時代にかけての古窯は、計30箇所が確認されており、その内、市東南部の三ヶ峯第3号窯が市指定史跡に指定されている。

三ヶ峯第3号窯



## 6) その他史跡

- ・その他史跡としては、市内中央より北側一帯に石仏や道標が数多く点在している。



常夜灯

## 7) 市内観光拠点

- ・愛・地球博記念公園（モリコロパーク）
- ・トヨタ博物館
- ・名都美術館
- ・長久手温泉ござらっせ（温泉、飲食施設）
- ・あぐりん村（地産農作物等販売、飲食施設）



ござらっせ



あぐりん村



トヨタ博物館

## 8) 農村風景

- ・岩作及び上郷の農村風景



## 9) 主要な市内の緑地・農地等

- ・大草丘陵・岩作丘陵の樹林地、ため池、湧水等
- ・三ヶ峯丘陵の樹林地、ため池、湿地
- ・香流川沿いの農地、水辺空間
- ・秋ヶ池公園（地区公園）
- ・愛知県農業総合試験場
- ・愛知県立芸術大学



## 10-3. フィールドミュージアムルート計画

### 1) 国指定史跡等の整備の考え方

- ・「史跡長久手古戦場保存活用計画」に基づき、附の御旗山・首塚・色金山に関しては、古戦場公園と同様、石碑や床机石を現況の状態での保存継承し、御旗山・色金山については、史跡指定事由である、かつて徳川家康も見たであろう眺望機能を体感できるよう、眺望、通景を妨げる樹木の整枝等を行う。
- ・これらに加え、市指定文化財に指定されている長久手城趾・堀久太郎秀政本陣地跡・木下勘解由塚、その他合戦史跡の血の池・鎧掛の松についても、長久手の戦いの全貌を明らかにするため、国指定史跡地と同様の解説板・案内標識を整備する。

### 2) フィールドミュージアム拠点整備計画

#### － 1. 附（国指定史跡）等眺望拠点整備

- ・眺望、通景を妨げる樹木の整枝等を行い各拠点に必要な眺望環境を確保する。
- ・眺望対象の名称、距離等が理解できるパノラマ解説板を設置する。
- ・記念碑等の解説板を設置する。
- ・国指定史跡において、AR 技術等により当時の戦いなどの様相を展示解説する。

#### － 2. 立寄り拠点整備

- ・立寄り拠点もしくは最寄りの箇所に駐輪場を整備する。
- ・総合案内板、施設解説板、周辺飲食・物販店舗等の案内板を設置する。
- ・可能な箇所にはトイレを設置する。

#### － 3. ルート分岐点整備

- ・道標（目的地・距離表示）を設置する。

#### － 4. ルート沿い景観整備

- ・各ルートに相応しい修景緑化、建築等の色彩・素材誘導を行う。

### 3) 既存観光・散策ルートマップの把握

計画時点で、以下の複数の史跡めぐり、散策ルートマップが公的機関等から発行されている。

**長久手合戦史跡マップ**

◆**主要史跡コース** (3.7km)  
 長久手市郷土資料室 → ①勝入塚 → ②庄九郎塚 → ③武蔵塚 → ④鐘掛の松⑤血の池公園 → ⑦長久手城址 → ④御旗山 → ⑩教團寺 → ⑥首塚 → ⑧安富寺 → ⑤色金山  
 ※⑥～⑩を省くと2.4km、また①②③のみなら0.7kmです。

◆**全指定史跡コース** (6.9km)  
 長久手市郷土資料室 → ①勝入塚 → ②庄九郎塚 → ③武蔵塚 → ④教團寺 → ⑥彦塚 → ⑦安富寺 → ⑤色金山 → (石作神社) → (岩作本陣) → ④御旗山 → ⑧神掛の松⑨血の池公園 → ⑦長久手城址 → (長行次神社) → ⑩久太能勢政本陣跡 → ⑧木下親解由塚  
 ※( )内は長久手合戦と直接関係ありませんが、歴史的な地点です。

**長久手市郷土資料室**

長久手合戦400年を記念し昭和60年古戦場公園に閉室。長久手合戦の資料や市の民俗資料などを展示。

- 所在地 武蔵塚204番地
- 閉室時間 0:00～17:00(入室は16:30まで)
- 入場料 無料
- 休室日 月曜日・祝日の振替日・12/28～1/4
- TEL. 0561-62-6235
- 駐車場 普通車49台・大型バス1～2台

**色金山歴史公園**

史跡周辺を平成8年に公園として整備。展望テラスや茶室を森が包む、緑豊かな憩いの場。

茶室管理棟

- 所在地 岩作色金37-1
- 閉室時間 9:30～18:00(入室は15:30まで)
- 料 茶 250円(菓子付き)
- 休 室 日 月曜日・祝日の振替日・12/28～1/4
- TEL. 0561-61-3131
- 駐車場 65台

長久手合戦史跡マップ【長久手市生涯学習課発行】



ながくてグルメ・まちあるきマップ【長久手市観光交流協会発行】



リニモ沿線サイクリングマップ【リニモ沿線パーク&ライド推進会議発行】

#### 4) フィールドミュージアムルート計画

##### ①主要合戦史跡めぐりコース (3.7km) 約1時間コース

・古戦場公園 (ガイドンス施設) → 勝入塚 → 庄九郎塚 → 武蔵塚 → 鎧掛けの松 → 血の池公園 → 長久手城趾 → 御旗山 → 教圓寺 → 首塚 → 安昌寺 → 色金山

##### ②全戦史跡めぐりコース (6.9km) 約2時間コース

・古戦場公園 (ガイドンス施設) → 勝入塚 → 庄九郎塚 → 武蔵塚 → 教圓寺 → 首塚 → 安昌寺 → 色金山 → 石作神社 → 岩作城跡 → 御旗山 → 鎧掛の松 → 血の池公園 → 長久手城趾 → 景行天皇社 → 堀久太郎秀政本陣地跡 → 木下勘解由塚

##### ③長久手の自然と農をめぐり散策コース (7.1km) 約2時間コース

・古戦場公園 (ガイドンス施設) → 岩作橋 → 香流川沿い → 猪ノ鼻の堰 → あぐりん村 → 香流川緑道 → 平成こども塾周辺里山 → 多度神社 (保存木) → 香流川緑道 → リニモ公園西駅

##### ④リニモ沿線散策コース (10.0km) 約5時間コース

・古戦場公園 (ガイドンス施設) → リニモ杵ヶ池公園駅 → 名都美術館 → リニモ芸大通駅 → トヨタ博物館 → 愛知県農業総合試験場 → 公園西駅 → 神明社古墳群 → 愛・地球博記念公園駅 → モリコロパーク散策

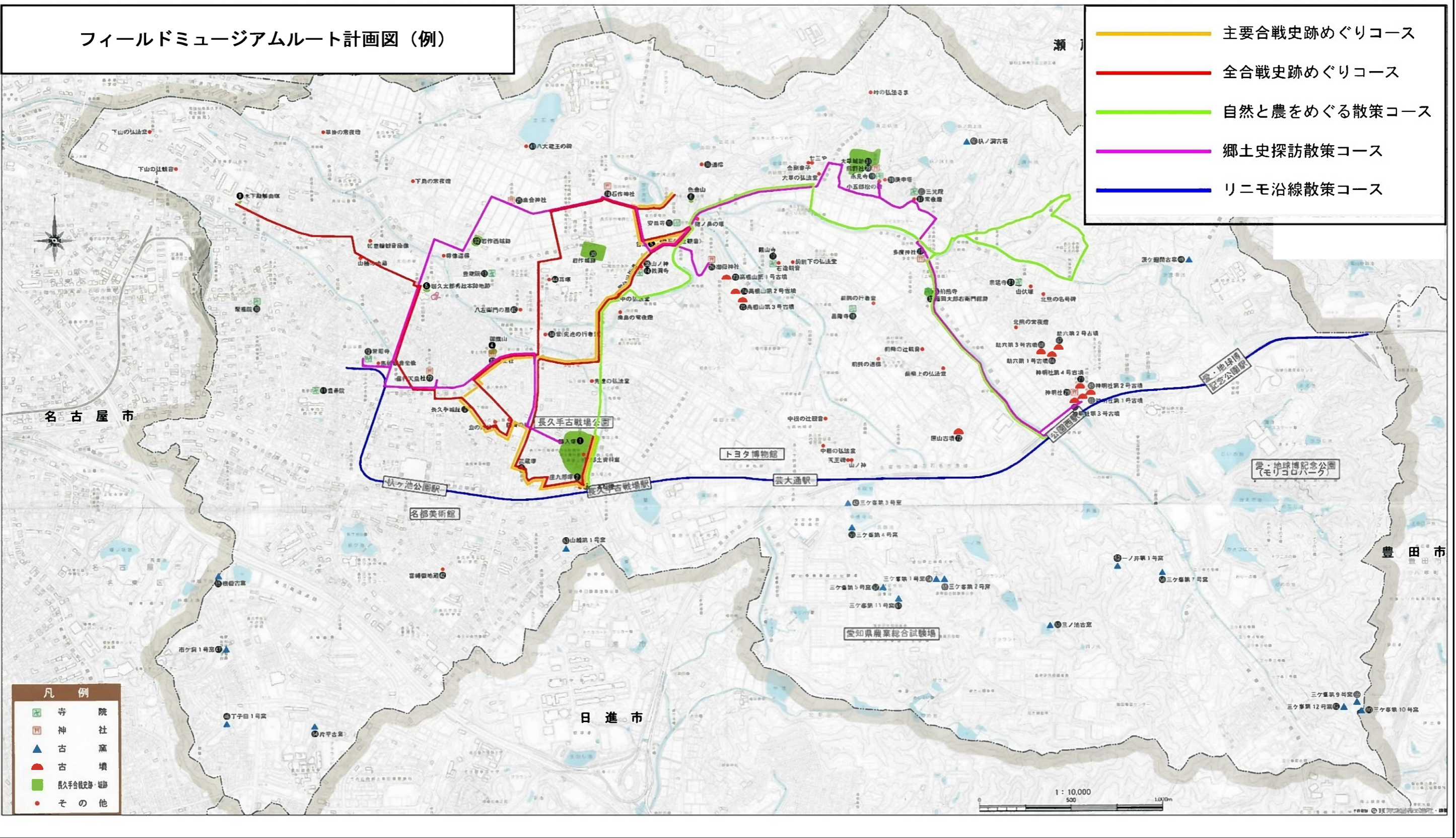
##### ⑤郷土史探訪散策コース (8.0km) 約2.5時間コース

・古戦場公園 (ガイドンス施設) → 御旗山 → 景行天皇社 → 常照寺 → 岩作西城跡 → 直会神社 → 石作神社 → 色金山 → 安昌寺 → 御嶽神社 → 熊野社 → 永見寺 → 三光院 → 多度神社 → 神明社 → リニモ公園西駅

拠点	概要
景行天皇社	日本武尊の父「景行天皇」を祀る由緒ある神社 (長湫の馬の塔)
石作神社	オマント祭 (無形民俗文化財) (岩作の馬の塔)・猿投三社大明神祭 岩作西之切画軸・木造 恵比須天・大黒天二像 (有形民俗文化財)
色金山	馬頭観音・床几石観音道 (三十三の石仏)
安昌寺	城東西国1番 尾張四国69番 愛知四国33番札所
御嶽神社	御嶽信仰
熊野社	(上郷の馬の塔) → 多度社、神明社の氏子が合同
三光院	馬の塔図絵馬 (有形民俗文化財)
多度神社	石造鳥居 (有形文化財)・前熊の山車 (有形民俗文化財)
神明社	石造鳥居 (有形文化財)

フィールドミュージアムルート計画図（例）

- 主要合戦史跡めぐりコース
- 全合戦史跡めぐりコース
- 自然と農をめぐり散策コース
- 郷土史探訪散策コース
- リニモ沿線散策コース



凡例

	寺	院
	神	社
	古	窯
	古	墳
	長久手合戦史跡	跡
	そ	の
	他	